

フジコーポレーション

高い溶出抑制効果を確認

国環研と共同で実証

数万Bqの飛灰を対象

フジコーポレーション(本社・長野県佐久市、山口幸男社長、0267-66-6668)は9月24日、(独)国立環境研究所と共同で行ってきた1ヶ月に及ぶ溶出抑制試験では、約22%まで向上させた。

全面キャッピングを行わないむき出しの状態の供試体の溶出試験でも、セシウム134が1ヶ当たり14Bq、同137が23Bqといずれも高い溶出抑制効果を確認した。

試験は(独)国立環境研究所の資源循環廃棄物研究センター廃棄物適正処理処分研究室長の山田正人博士らのチームと共同で行ってきた。コンクリート固化による溶出抑制技術の中心で、実際に最終処分場で実用化されている、大量のものを扱うことができる同社のフジ式盛材圧密成形工法が着目された。

山田氏は「放射性セシウムは非常に水に溶けやすい物質であるが、水に接触させないことが重要だ。キャッピングを行わない供試体では、約1割弱程度の放射線物質濃度まで対応できるが試験を行ってきた。アナログだが、これほどシンプルで正確な技術はないと考えられている」と語った。



実証結果を報告する山口藤吉郎会長(右)と山田正人博士

技術開発者であるフジコーポレーションの山口藤吉郎会長は「当社の技術がどの程度の放射線物質濃度まで対応できるか試験を行ってきた。アナログだが、これほどシンプルで正確な技術はないと考えられている」と語った。

指定廃物の処分場で2カ所目

環境省 高萩市の国有林を選定

環境省は9月27日、指定廃棄物の最終処分場設置の候補地に、茨城県高萩市大字上君田字堅石の国有林を選定した。同処分場の候補地として具体的に地名を提示したのは、栃木県矢板市に続いて2カ所目となる。同省では今後、県や市、処分場周辺住民に説明し理解を求める意向だ。

8月3日時点で、県内では指定されている指定廃棄物は約1700トンに上る。最終的には3490立方メートルになる見込み。

予定地は土地利用の法令面の制約や地盤災害リスクがない。今後発生する廃棄物の処分にも十分対応可能な規模を確保できる。水道水源や河川、崖地から離れていて、周辺土地利用への影響が少ないうことなどを評価した。現地踏査では、処分

ISO39001と廃棄物収集運搬

安全運搬で企業価値を高める

最終回

シ上で報告・謝罪しているが、今年度は7、8月と3カ月連続で発生している。

競争の激化やコストダウンによる人員削減により廃棄物収集運搬の環境が悪化している

安全文化の向上が重要

今年8月に静岡で、9月には愛知でゴミ収集車により歩行者がひかれる死亡事故が起きている。交通事故の中でも歩行者を巻き込む死亡事故は最悪の事態だ。

また、大阪市では環境局がゴミ収集車両の交通事故をホームページ

競争の激化やコストダウンによる人員削減により廃棄物収集運搬の環境が悪化している

経営層は認識すべきだ。1カ月前に正式発行

成すものだと記して客である排出事業者と日常的に接するドライバーが業界の「顔」であり「ブランド」となることから、ドライバーのレベルアップに注力しているのだ。

ISO39001は、認証取得は必ずしも安全のみならず「安全文化」を醸成し、企業価値を高めるからだ。

ISO39001は、認証取得は必ずしも安全のみならず「安全文化」を醸成し、企業価値を高めるからだ。



環境ワークス代表取締役
RTS経営研究会
黒崎 由行

この連載では、道路交通安全マネジメントシステムの国際規格発行者の事前情報として伝えてきたが、予定よりひと月早い10月1日、

全と安心を顧客にアピールするうえで有効だ

全国で195人が合格している。検定の取得でドライバーの安全意識が大きく向上しているという。

安全文化を高める

廃棄物処理法や排出処理双方の現場に詳しい弁護士佐藤泉氏に、単行本「廃棄物処理法重点整理」を解説していただく。

問い合わせはTAC出版(03-5276-9492)まで。



その典型が、ここ数カ月のPETボトル再商品化事業を巡る混乱だ。国内PET樹脂価格の下落が続く、再生PET樹脂の需要が買値の値下げ要求を強めたことなどが要因となり、多くの指定法人ルートで落ちた再商品化事業がさばききれな

岐路に立つPET再商品化

生PET樹脂の需要が買値の値下げ要求を強めたことなどが要因となり、多くの指定法人ルートで落ちた再商品化事業がさばききれない。PET樹脂価格の値下がり傾向に全く先が読めない。このままでは制度そのものの崩壊につながるかもしれない。業界に詳しい識者(中)

海上パトロール実施へ

不投防止と環境美化目指し

法投棄等不適正処理防止海上パトロールを実施する。県や市の他、和歌山海上保安部などの機関も参加予定。沿岸部における不法投棄を、パトロールし、環境美化に貢献する。予定では、午前9時に和歌山南港を出発する。同協会は、このよう

佐藤泉弁護士、定義区分で単行本

廃棄物処理法や排出処理双方の現場に詳しい弁護士佐藤泉氏に、単行本「廃棄物処理法重点整理」を解説していただく。本書は、条文の解釈だけでなく解決できない個々の事例を取り上げ、リサイクルの実務に役立つよう努めている。また、無難な解釈だけでは、現実に対応できないとの観点から判例や通知を踏まえつつ、同氏なりの解釈も試みている。処理法を順守し、廃棄物の削減やリサイクルに取り組む企業にとっては発想の転換を促す参考書となる。

A5版サイズ、227頁、定価1400円(税込)。



問い合わせはTAC出版(03-5276-9492)まで。

総合・適正処理